

社会福祉法人 東京都社会福祉事業団  
令和4年度定時評議員会議事録

1 招集年月日

令和4年6月17日（金曜日）

2 開催日時

令和4年6月29日（水曜日）午後3時45分から午後5時29分まで

3 開催場所

社会福祉法人東京都社会福祉事業団事務局第一会議室

※Web会議システムによる出席者は、自宅・職場等の各会場から出席

4 出席者（※Web会議システムによる外部会場からの出席者）

(1) 評議員総数 10名

出席予定評議員 10名中、現地参加評議員5名

評議員 中島 隆 評議員 岡橋 生幸

評議員 齋藤 豊 評議員 福島 民雄

評議員 奈良部 瑞枝

オンラインシステム障害により別途報告とした評議員5名

評議員 横堀 昌子（※） 評議員 矢嶋 里絵（※）

評議員 湯浅 克己（※） 評議員 小池 朗（※）

評議員 中川 一典（※）

(2) 出席理事及び監事

理事長 山岸 徳男 業務執行理事 佐野 宏子

監事 石村 光代

オンラインシステム障害により出席できなかった監事

監事 齋藤 一紀（※）

5 議長

評議員 中島 隆

6 議事録作成者

評議員 中島 隆

7 議題

(1) 報告事項

ア 令和3年度事業報告について

イ 令和3年度決算について

※ 以下の「8 議事の経過の要領及びその結果」における発言者は「出席者」と表記している。(理事長、業務執行理事及び監事の職責としての発言をした場合の監事を除く。)

## 8 議事の経過の要領及びその結果

### (1) 報告事項

報告事項について、山岸理事長、佐野業務執行理事及び事務局から、「令和4年度定時評議員会報告事項」、「令和3年度事業報告書」、「令和3年度決算報告書」、「令和3年度決算説明用参考資料」、「社会福祉充実残額の算定」により、説明があった。

その後、議長が質問・意見を募ったところ、次の質問・意見があった。

- 出席者から、重大事故の具体的な件数について質問があり、佐野業務執行理事から、事業団として定義している重大事故に該当するものはなかったとの説明があった。さらに出席者から、重大事故がゼロであることや件数の経過がわかるようにすべきとの意見があった。また、ヒヤリハット報告件数の大幅増加とあるが、具体的数値を記載すべきとの意見があり、事務局から、具体的数値や規模感については、記載できるか検討していきたいとの回答があった。
- 出席者から、事業報告書のアクションⅡについて、施設機能に応じて積極的に受け入れ、とあるが、障害支援施設では、希望があっても入所できない人が大勢いるとの意見があり、山岸理事長から、積極的にという部分は、特別な支援が必要というところに主に掛かっており、施設入所待機者の内、緊急度や必要度の高い方から入所している状況で、他の民間施設では対応できない方を積極的に受け入れているところにウエイトを置いた表現にしているとの回答があった。
- 出席者から、障害支援施設の入所率について質問があり、佐野業務執行理事から前年度は、前々年度と比較し若干下がっているとの説明があった。また、山岸理事長から、新型コロナの安全対策の観点から、入所前の外部者の調査に制限があったこと、また、看護師の欠員により、医療的ケアが必要な方を多数受け入れることが難しかったことなどの要因について説明があった。
- 出席者から、事業報告書の中で、職員の頑張りや努力がもっとうまく表現されるべきとの意見があった。
- 出席者から、平均勤続年数と離職率について質問があり、事務局から、平均勤続年数は、令和2年度7.3年、令和3年度7.6年、正規職員の離職率は、令和2年度9.6%、令和3年度10.2%であるとの回答があった。さらに出席者から、10%台の離職率は他の障害施設と比較すると高くはない。大変な状況下で、それなりの対策をしたと思われるので、事業報告書

へ記載をしてはどうかとの意見があり、事務局から、離職防止も含め、人材の確保・定着などアピールできる部分は記載を検討していきたいとの回答があった。

- 出席者から、事業団では、ホームページに理事会・評議員会の議事録及び事業計画等について掲載しているが、どこまで理事・評議員に報告しているか議事録から読み取るため、計画だけでなく、積極的な議論についても記録する配慮が必要であるとの意見があった。

以上、議長は議事がすべて終了した旨を告げ、午後5時29分に閉会した。